

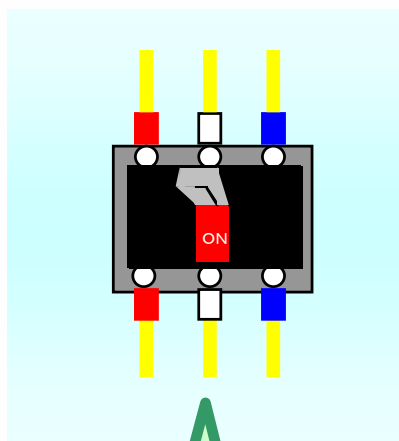


メンテナンス時には、設備の電源を切りましょう。

ライン停止時や機械設備のメンテナンス時には、制御盤のブレーカより電源を切るようにし、作業時等の安全を確保するとともに、待機電力の削減を図ります。

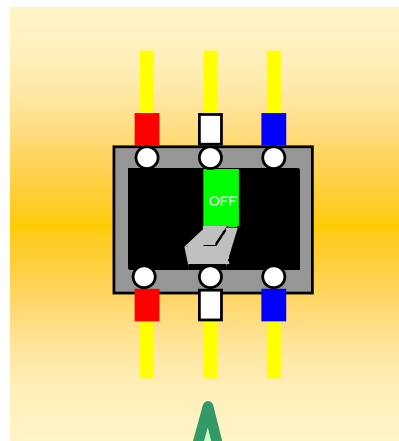
対策例

現状



作業予定のない電気設備のブレーカの電源が「入」になっていませんか？

不使用時



ライン停止時やメンテナンス時はブレーカの電源「断」により省エネと安全を確保

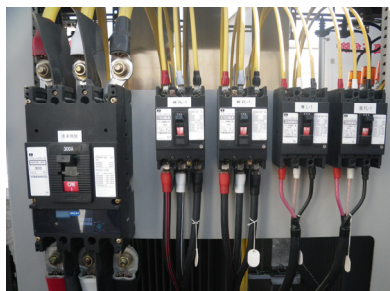
省エネ対策のポイント

- ・安全に起動・停止が可能か、関連設備とのインターロック等を事前に確認してください
- ・機器によっては、起動に時間を要する場合や大きな電力を要する場合があります。これらの諸条件と節電効果を勘案し、停止基準を設定するようにしましょう。
- ・ブレーカの起動忘れがないように注意してください。
- ・故障につながる設備の電源はOFFにしないでください。

参考

○配線用遮断機について

- ・過負荷や短絡などの要因で二次側の回路（負荷、電路）に異常な電流が流れたときに回路を開放し、一次側からの電源供給を遮断することにより負荷回路や電線を損傷から回避するために用いる装置である。
- ・下の写真は、一般的な高圧需要家用の配線用遮断器で、通常、高圧受電設備内に設置されている。



高圧需要家用の配線用遮断器(例)